保土谷化学
HODOGAYA

化学で夢のお手伝い
Your Dream is Our Business

2026年度（2027年3月期）第２四半期

決 算 説 明 資 料

2026年11月11日

保土谷化学工業株式会社

証券コード：4112（東証プライム）

2Q
FY 2026

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

1. 2026年度 第2四半期 決算概要（連結）

2. 各セグメントの主要製品
セグメント別 業績推移・動向

3. 2026年度 業績予想と配当について

4. 中期経営計画「コード2030」の進捗

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

1. 2026年度 第2四半期 決算概要（連結）

2. 各セグメントの主要製品
セグメント別 業績推移・動向

3. 2026年度 業績予想と配当について

4. 中期経営計画「コード2030」の進捗

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

2026年度 第2四半期 決算概要（連結）

＜2026年4月1日～2026年9月30日＞

連結経営成績（金額単位：百万円）	2025年度 2Q累計	利益率(%)	2026年度 2Q累計	利益率(%)	前期比 増減 増減額	前期比 増減 増減率(%)	2026年度 業績予想＜通期＞ 2026/5/15 発表	進捗率 (%)
売上高	22,546	–	26,587	–	+4,041	+17.9	52,000	51.1
営業利益	1,532	6.8	3,407	12.8	+1,874	+122.3	3,400	100.2
経常利益	1,832	8.1	3,561	13.4	+1,729	+94.4	3,300	107.9
親会社株主に帰属する中間純利益	1,234	5.5	1,539	5.8	+305	+24.7	1,300	118.4

今回予想修正

P. 22参照

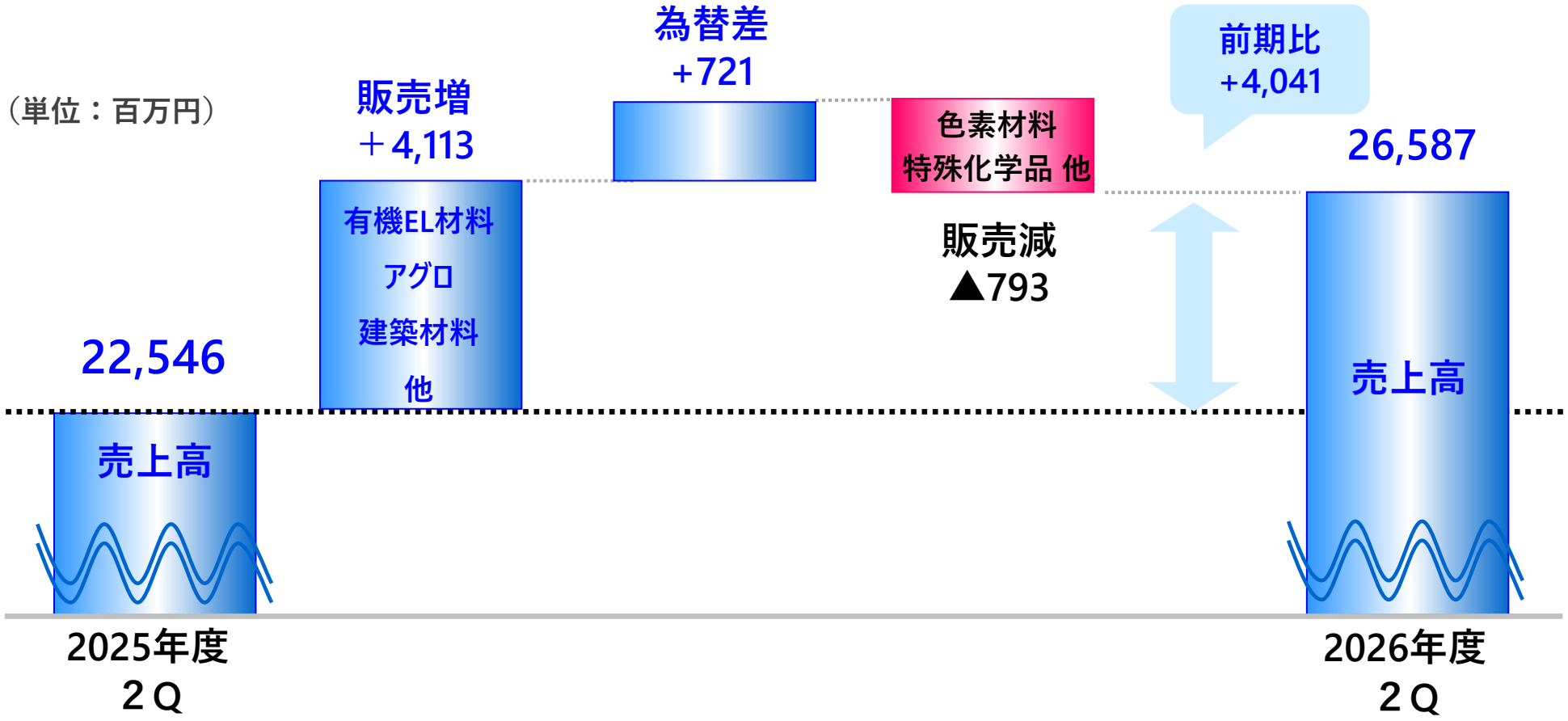
	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計
1株当たり中間純利益	77.65 円 銭	96.71 円 銭

為替レート（期中平均）	2025年度 2Q	2026年度 2Q
USD / JPY	146.09	160.05
KRW / JPY	0.1052	0.1105

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

2026年度 第2四半期：売上高 増減要因（対前期比）

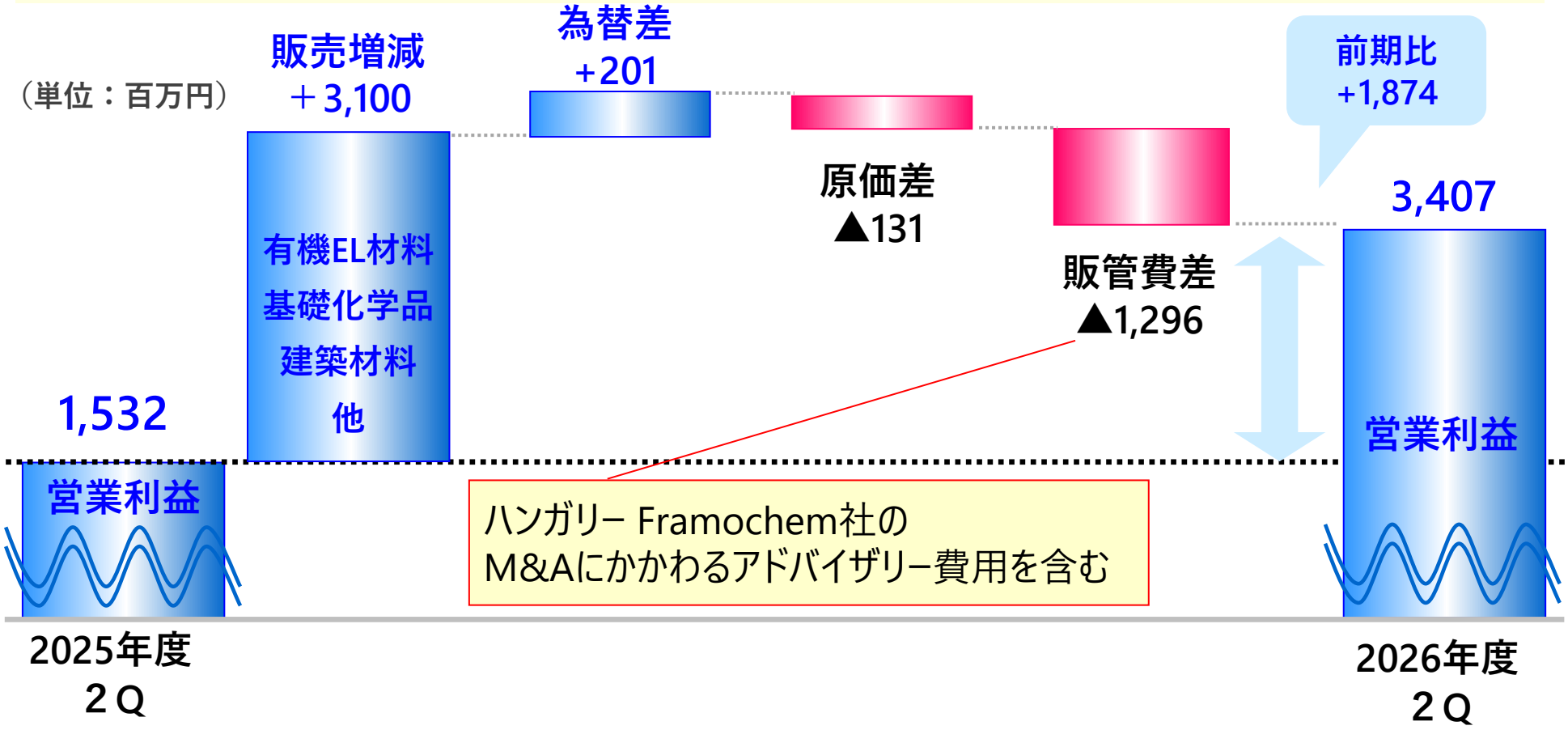
2026年度 第2四半期連結累計期間において、
機能性色素セグメントにおける有機EL材料の販売が増加したこと等により、
売上高は、前年同期比4,041百万円増（17.9％増）の26,587百万円となりました。



HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

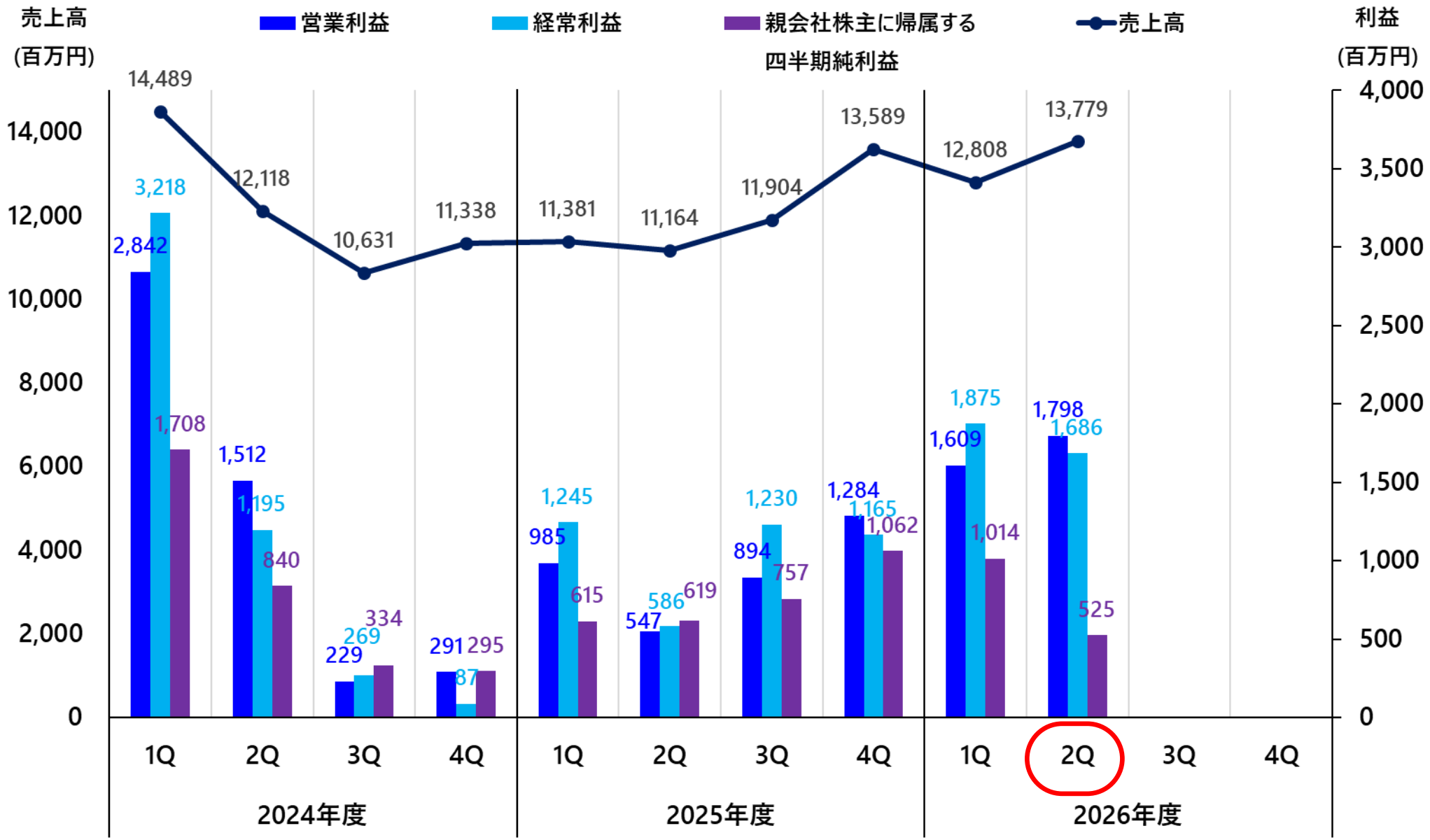
2026年度 第２四半期：営業利益 増減要因（対前期比）

2026年度 第2四半期連結累計期間において、
機能性色素セグメントにおける有機EL材料の販売が増加したこと等により、
営業利益は前年同期比1,874百万円増（122.3％増）の3,407百万円となりました。



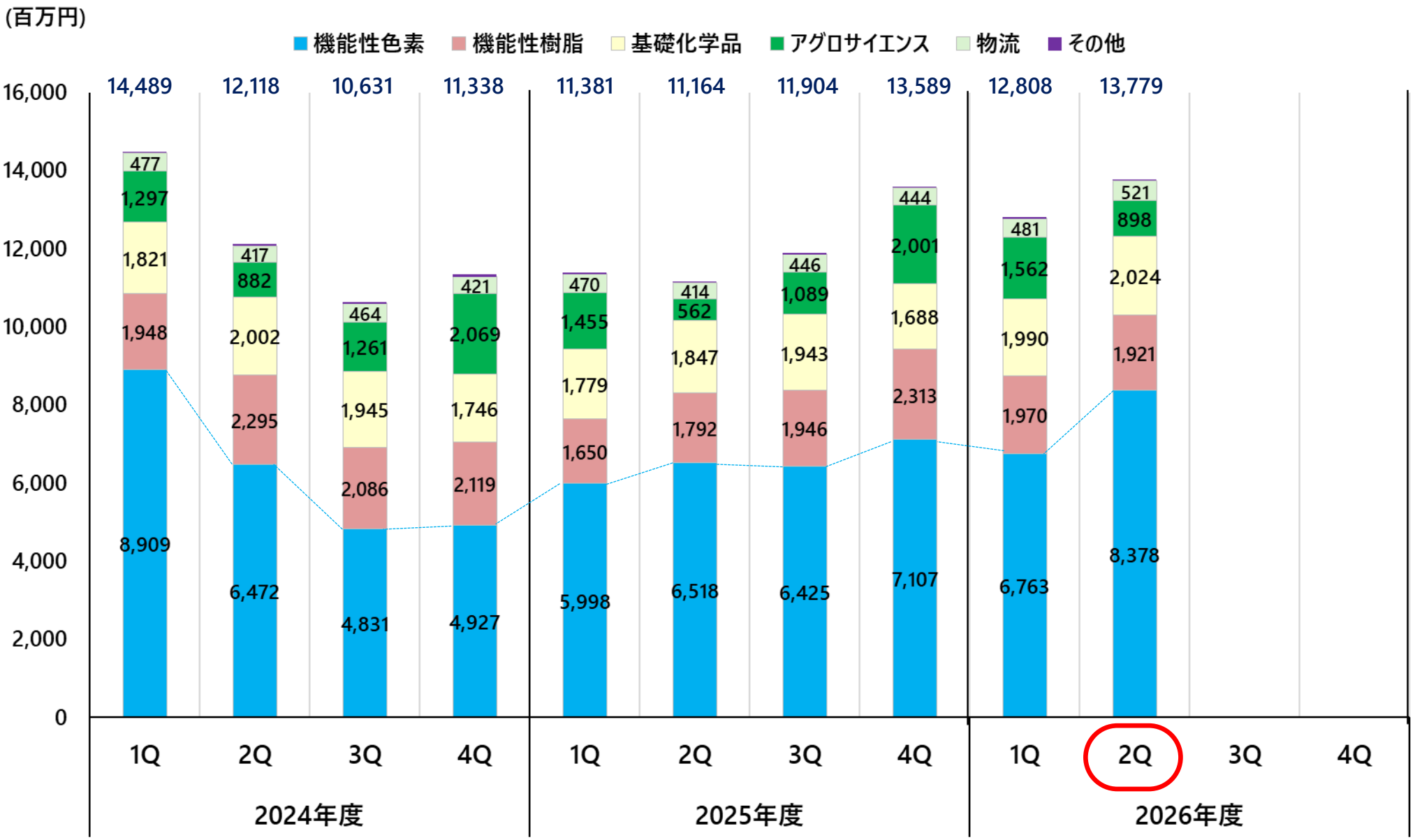
HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

連結業績の推移（四半期毎）



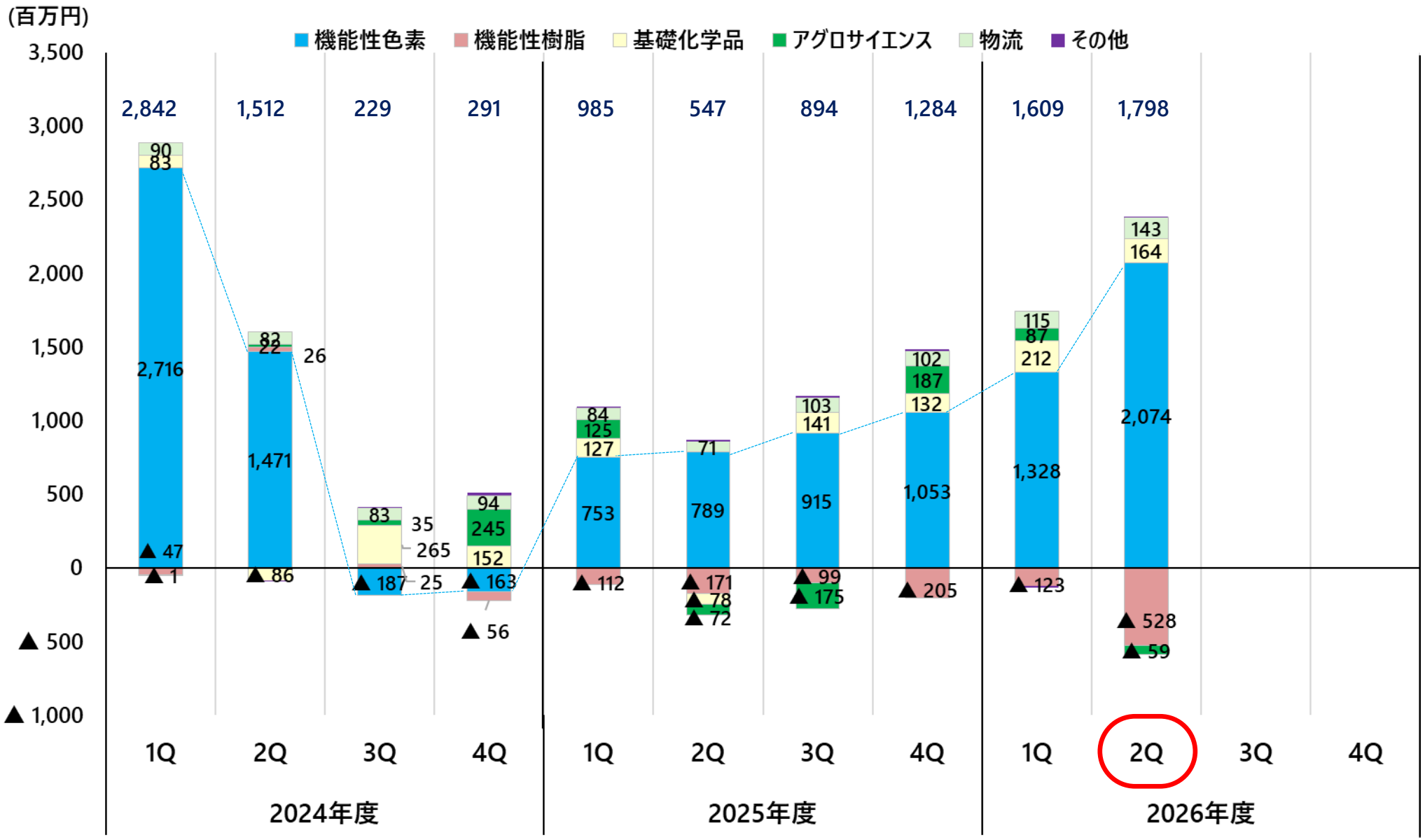
HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別 業績推移 - 四半期毎： 売上高（連結）



HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別 業績推移 - 四半期毎： 営業利益（連結）



HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別 業績推移 – 第２四半期（対前期比）

セグメント別 売上高（百万円）	2024年度 2Q累計	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	前期比 増減
機能性色素	15,381	12,516	**15,141**	＋2,624
機能性樹脂	4,244	3,443	**3,891**	＋448
基礎化学品	3,824	3,626	**4,014**	＋387
アグロサイエンス	2,180	2,018	**2,460**	＋442
物流関連	894	885	**1,002**	＋117
その他	82	56	**76**	＋20
合計	26,607	22,546	**26,587**	＋4,041

セグメント別 営業利益（百万円）	2024年度 2Q累計	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	前期比 増減
機能性色素	4,188	1,543	**3,402**	＋1,858
機能性樹脂	▲20	▲284	**▲651**	▲367
基礎化学品	▲3	49	**376**	＋327
アグロサイエンス	21	52	**28**	▲24
物流関連	173	155	**258**	＋103
その他	▲3	15	**▲7**	▲23
合計	4,354	1,532	**3,407**	＋1,874

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

貸借対照表（連結）

連結貸借対照表 （百万円）	前連結会計年度 (2026年3月31日)	2026年度 2Q 連結会計期間 (2026年9月30日)	前期比 増減	主な増減要因
総資産 (現金及び預金) (関係会社出資金)	86,413 (10,137) (－)	**111,561** **(10,247)** **(16,280)**	＋25,147 (+109) (+16,280)	◆ ハンガリー Framochem社の持分取得により増加：+16,280 ◆ 設備投資による有形固定資産増加：+3,036 ◆ 投資有価証券時価評価差：+1,653
純資産 (株主資本) (自己資本)	63,613 (43,303) (52,581)	**69,732** **(44,540)** **(56,444)**	＋6,118 (＋1,236) (＋3,863)	—
自己資本比率	60.8%	**50.6%**	▲10.2pt	◆ ハンガリー Framochem社の持分取得等による有利子負債の増加：10.2pt 低下
有利子負債	9,242	**24,907**	+15,665	◆ ハンガリー Framochem社の持分取得資金を借り入れしたこと等により増加

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

損益計算書（連結）

連結経営成績 （金額単位：百万円）	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	前期比 増減	主な増減要因
売上高	22,546	26,587	+4,041	◆ 主に機能性色素セグメントにおける有機EL材料の販売増
営業利益	1,532	3,407	+1,874	◆ 主に機能性色素セグメントにおける有機EL材料の販売増 ◆ ハンガリー Framochem社のM&Aにかかわるアドバイザリー費用を機能性樹脂セグメントに計上
経常利益	1,832	3,561	+1,729	—
親会社株主に帰属する中間純利益	1,234	1,539	+305	◆ 当社の海外連結子会社における特許権に関する係争中の案件について、将来の損失発生リスクに備えるため、現時点で合理的に見積もった損失見込額を訴訟損失引当金繰入額として特別損失に計上：▲908

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

キャッシュフロー（連結）

連結キャッシュフロー（百万円）	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	前期比 増減	主な増減要因
営業活動によるCF	4,127	**3,943**	▲184	—
(税金等調整前中間純利益)	(1,842)	**(3,043)**	(+1,200)	
(減価償却費)	(1,650)	**(1,514)**	(▲135)	
投資活動によるCF	▲1,816	**▲18,383**	▲16,567	◆ハンガリー Framochem社の持分取得のため（関係会社出資金の払込による支出）：▲16,280
(定期預金の預入/払戻による増減)	(1,188)	**(884)**	(▲304)	
(固定資産の取得による支出)	(▲2,866)	**(▲2,221)**	(+644)	
（関係会社出資金の払込による支出）	—	**(▲16,280)**	(▲16,280)	
財務活動によるCF	315	**15,030**	+14,715	◆短期借入金の増額：+16,101
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,346	**8,955**	▲1,391	—

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

1. 2026年度 第2四半期 決算概要（連結）

2. 各セグメントの主要製品
セグメント別 業績推移・動向

3. 2026年度 業績予想と配当について

4. 中期経営計画「コード2030」の進捗

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

各セグメントの主要製品

機能性色素

強み

「有機合成技術」「精製技術」を絶えずミガキ、
未来の豊かな暮らしを支える新たな事業領域へ
果敢に挑戦する力

有機EL他

- 発光材料、輸送材料、表面保護材料
- バイオ材料（オリゴ核酸製品）
- コピートナー用材料
- カラーフィルター用染料
- ペロブスカイト型太陽電池材料
- 半導体用材料（レジスト材料）



色素事業

- アルミ着色用染料
- 文具用染料
- カラートリートメント用染料
- 天然色素（食用・工業用）



機能性樹脂

強み

「ホスゲン化技術」を核としたグローバル・ニッチトップの
地位確立により、人々の豊かな暮らしと環境調和の両立を
実現する高付加価値スペシャリティ品を世界へ届ける力

機能化学品事業

- ウレタン原料
  （PTG、BIO-PTG、PTG-SOFTENA等）
- ホスゲン誘導体（医薬・ 樹脂・
  電子材料用中間体）
- 接着剤
- 剥離剤





建築材料事業

- 土木・建築用材料
  （ウレタン系）
- 防水・止水工事



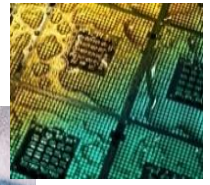
基礎化学品

強み

長年培った過酸化水素の製造技術と
強固な安定供給網を基に、衣食住から先端分野まで、
時代の求める新たな用途へ展開する発想力

パーオキサイド事業

- 過酸化水素
- 過炭酸ナトリウム
- 過酢酸
  （除菌用、食添用）
- 工業薬品





アグロ

強み

「製剤化技術」をベースとした独創的な製品開発を通じ、
環境対応を軸とした新たな市場を共創する力

農薬事業他

- 除草剤
- 殺虫剤
- 殺菌剤
- 農業資材
  (酸素供給剤)



物流関連

強み

危険物・化学品の「取り扱いノウハウ」と先進技術の
融合により次世代の安心・安全をカタチにする力

物流関連事業

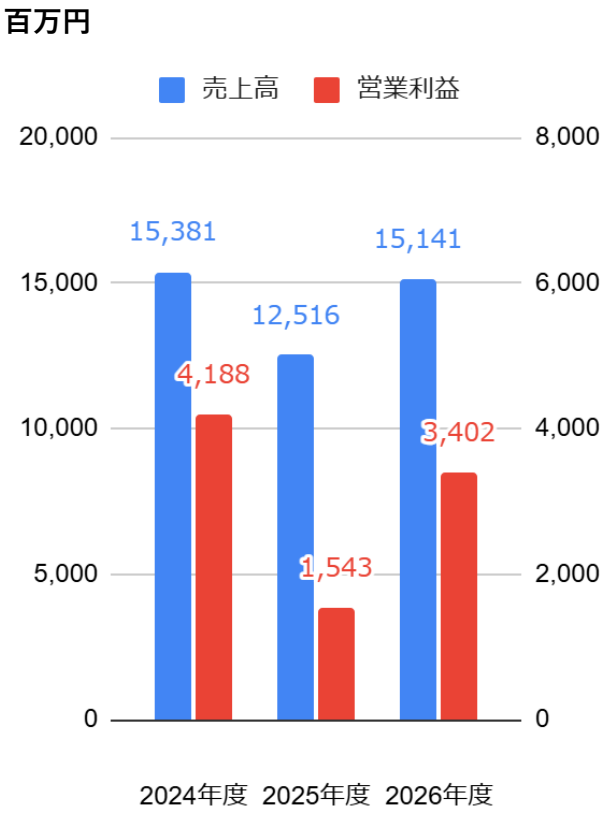
- 倉庫業（危険物/一般品）
  横浜営業所、郡山営業所
  南陽営業所
- 貨物利用運送取扱業
- ISOタンクコンテナ保管事業

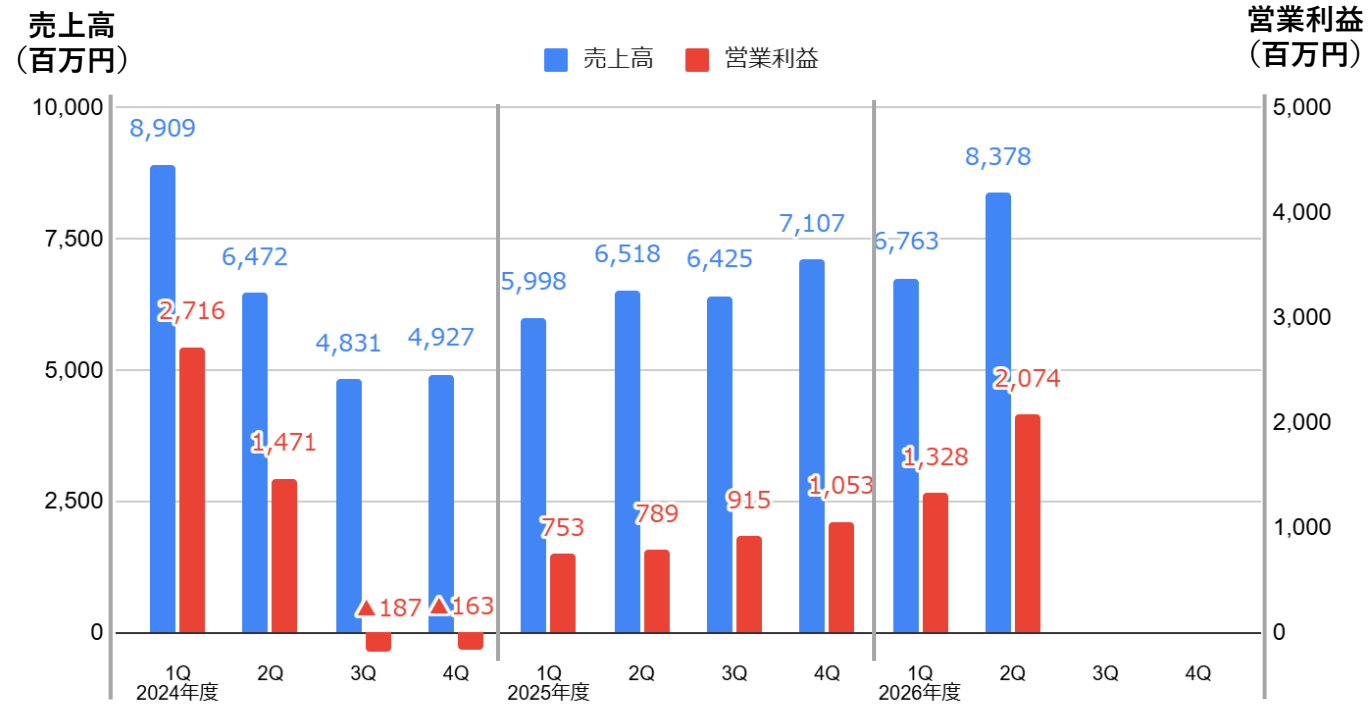


HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント業績動向： 機能性色素

2Q（累計）





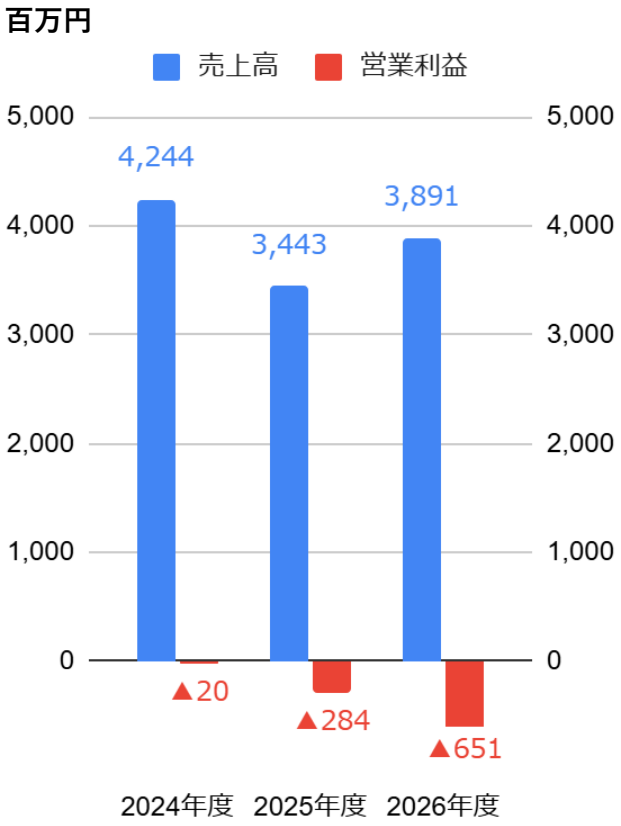
各事業の動向

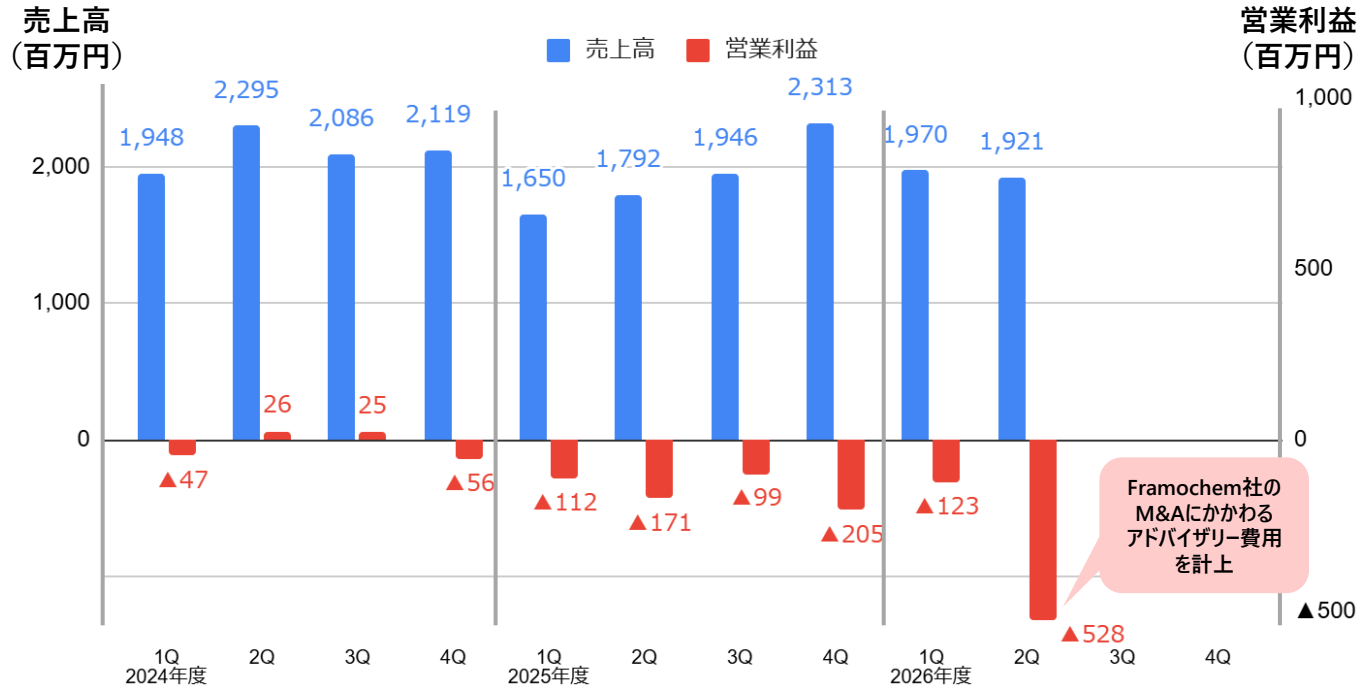
- 有機EL材料事業は、スマートフォン新モデル向けの出荷が増加したことや、BIO材料の需要も堅調に推移したことにより、大幅な増収となりました。
- 色素材料事業は、アルミ着色用染料において、環境対応型製品の競争激化と既存品の販売減少により、大幅な減収となりました。
- イメージング材料事業は、プリンター向け材料の需要が堅調に推移し、大幅な増収となりました。
- 以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比2,624百万円増（21.0％増）の15,141百万円となりました。

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント業績動向： 機能性樹脂

2Q（累計）





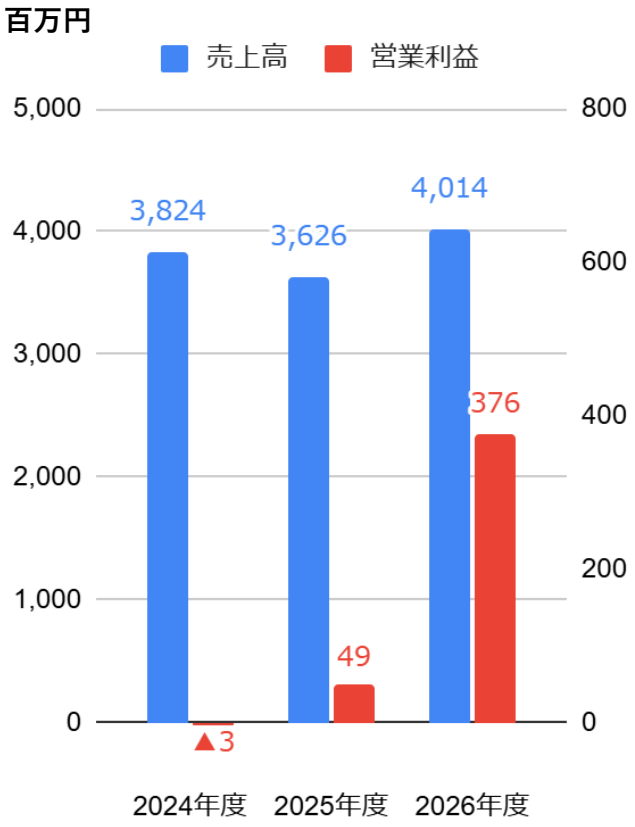
各事業の動向

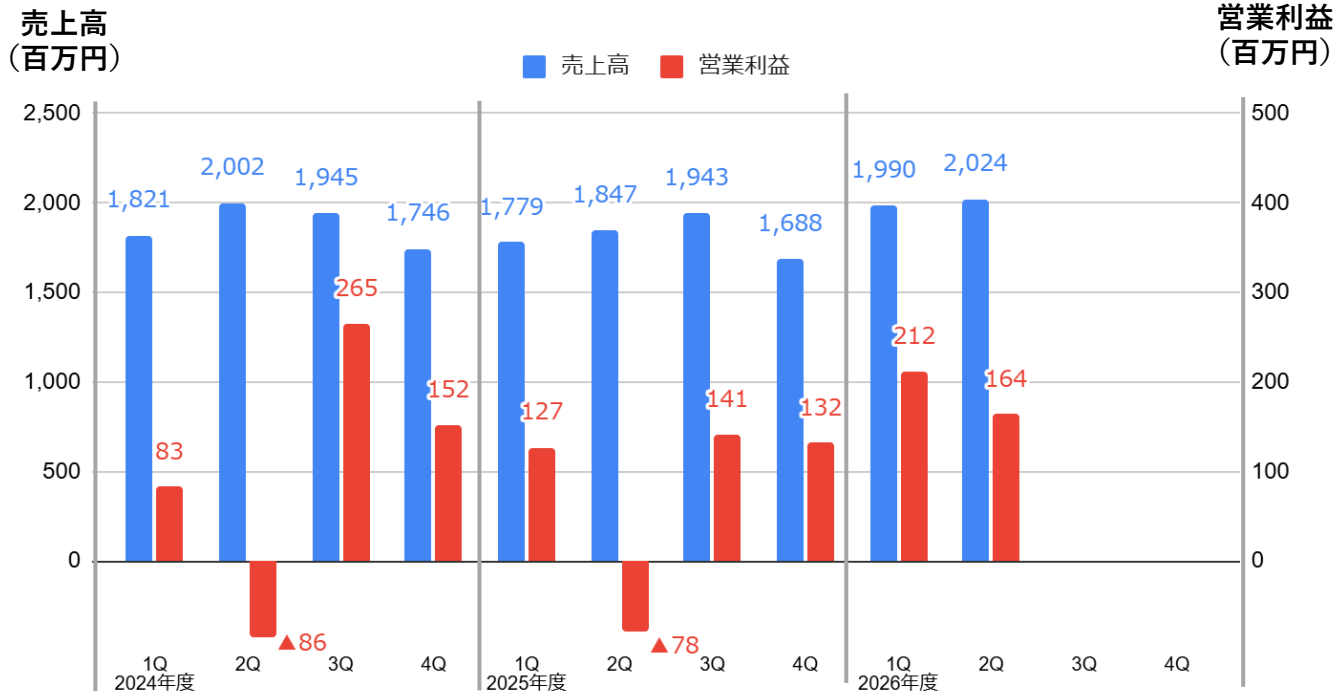
- 特殊化学品事業は、一部主力製品の需要が増加したものの、剥離剤向け及び医薬向け製品の需要が減少し、事業全体としては減収となりました。
- 建築材料事業は、ウレタン防水材料において、中東情勢の影響による市場での製品供給不安を背景とした、第1四半期の需要増加が寄与し、大幅な増収となりました。
- 樹脂材料事業は、ウレタン材料の需要増加や、接着剤の需要好調等により、大幅な増収となりました。
- 以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比448百万円増（13.0％増）の3,891百万円となりました。

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント業績動向： 基礎化学品

２Ｑ（累計）





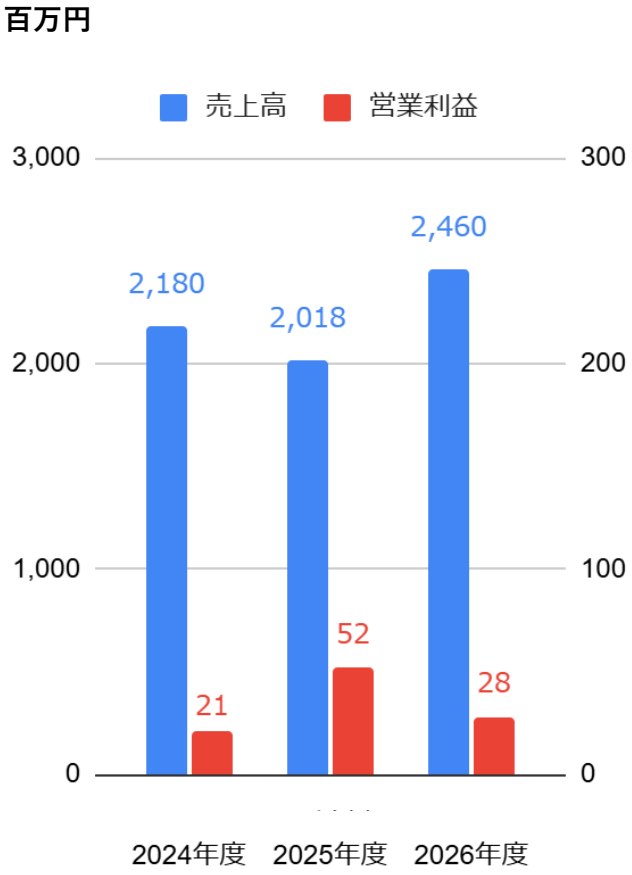
各事業の動向

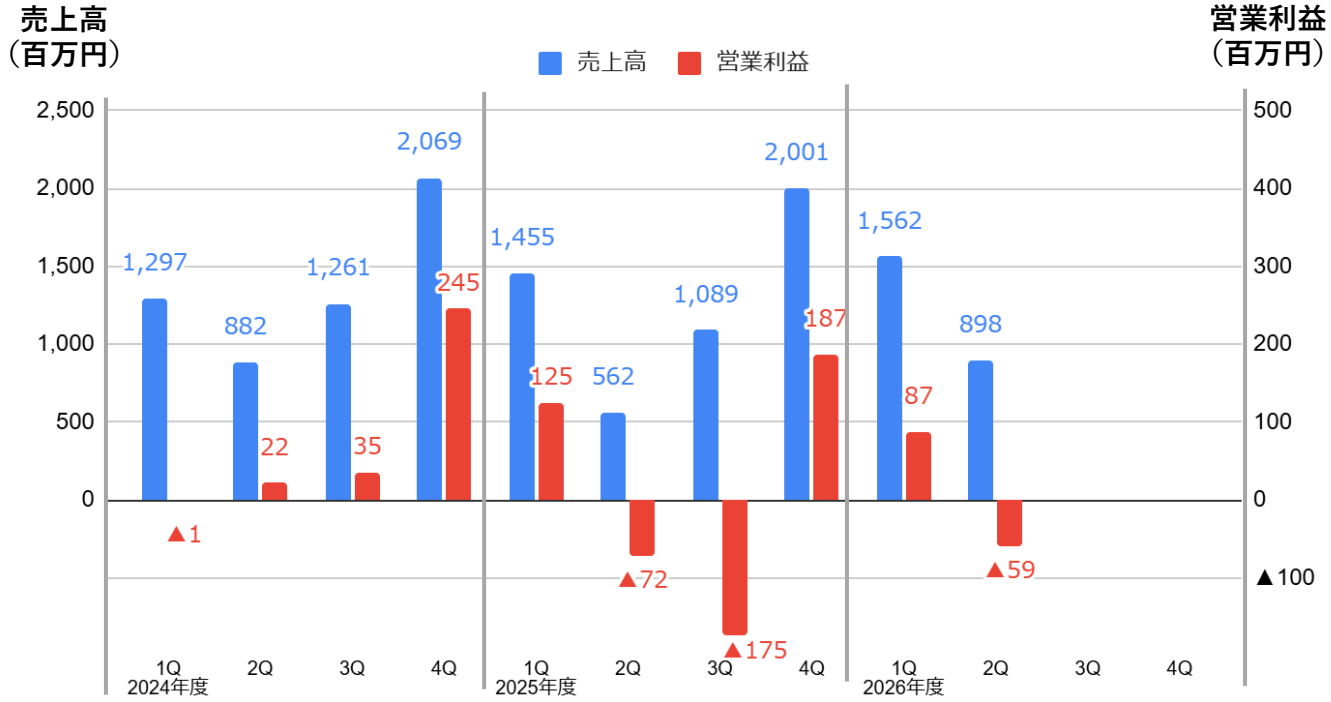
- 過酸化水素において半導体向けおよび紙パルプ向けの需要増加により、大幅な増収となりました。
- 以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比387百万円増（10.7%増）の4,014百万円となりました。

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント業績動向： アグロサイエンス

2Q（累計）





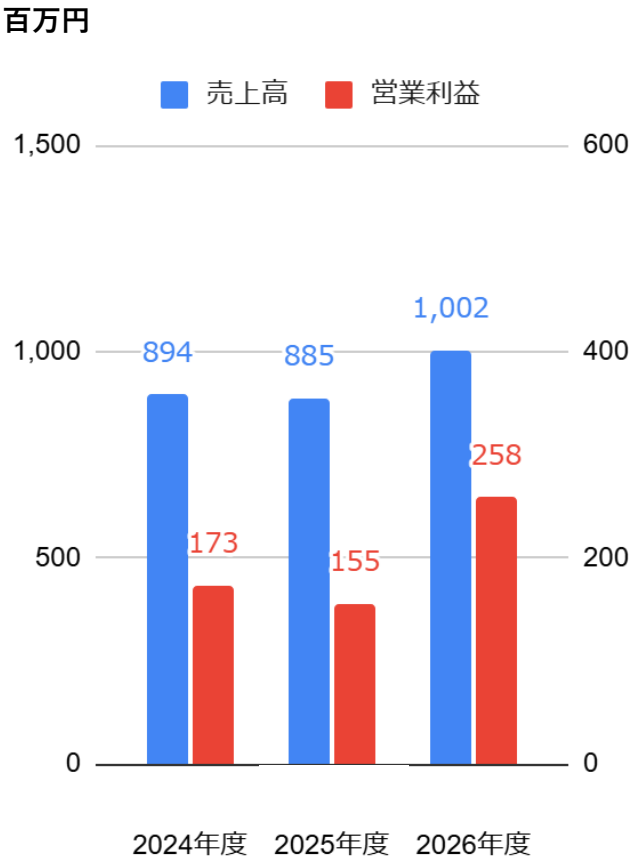
各事業の動向

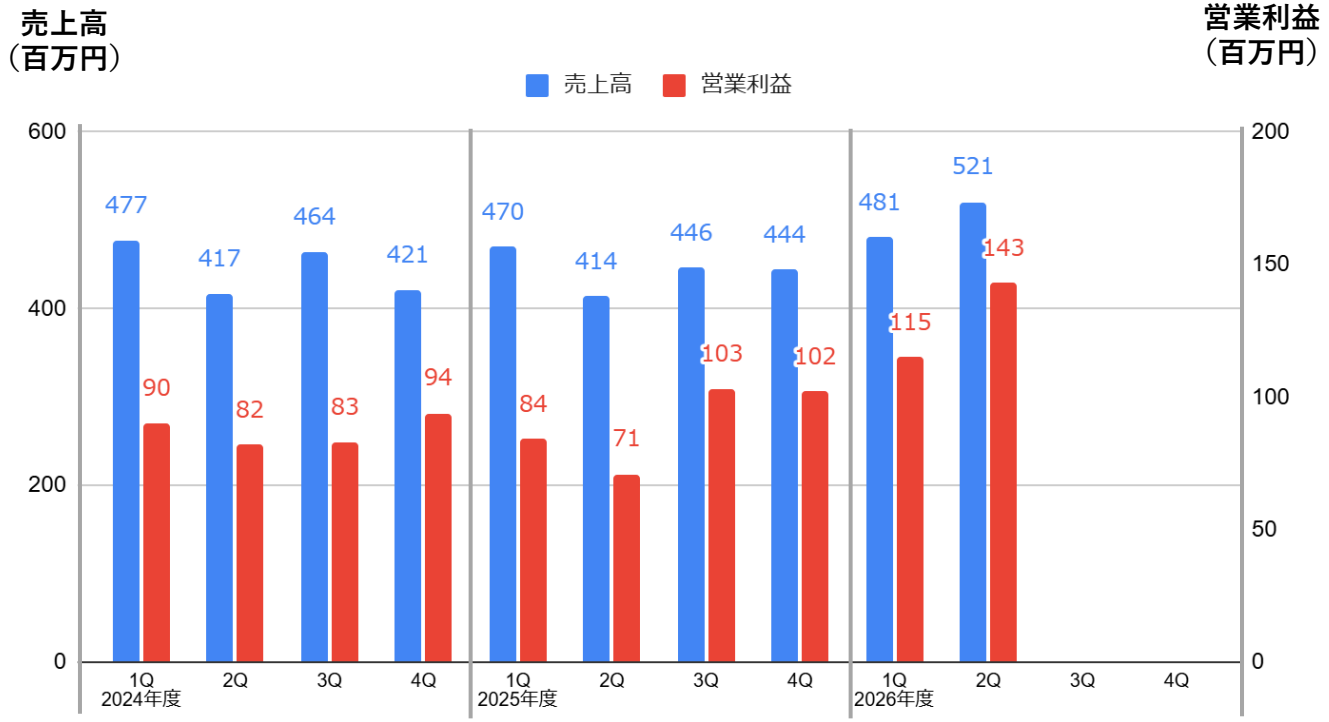
- 除草剤は、家庭園芸向け新製品の販売増加や、ゴルフ場向けの需要が堅調に推移したことにより、大幅な増収となりました。
- 以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比442百万円増（21.9%増）の2,460百万円となりました。

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント業績動向： 物流関連

2Q（累計）





各事業の動向

- 国内および輸出入向けの荷動きが堅調に推移したほか、ISOタンクコンテナ事業の好調等により、大幅な増収となりました。
- 以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比117百万円増（13.3％増）の1,002百万円となりました。

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

1. 2026年度 第2四半期 決算概要（連結）

2. 各セグメントの主要製品
セグメント別 業績推移・動向

3. 2026年度 業績予想と配当について

4. 中期経営計画「コード2030」の進捗

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

2026年度 業績予想の修正

（金額単位：百万円）	前回発表予想 (2026年5月15日)	今回修正予想 (2026年11月11日)	増減額 増減額	増減額 増減率(%)
売上高	52,000	**54,000**	+2,000	+3.8
営業利益	3,400	**4,900**	+1,500	+44.1
経常利益	3,300	**4,500**	+1,200	+36.4
親会社株主に帰属する当期純利益	1,300	**1,600**	+300	+23.1
1株当たり当期純利益	81円75銭	100円49銭	–	–

修正の理由:

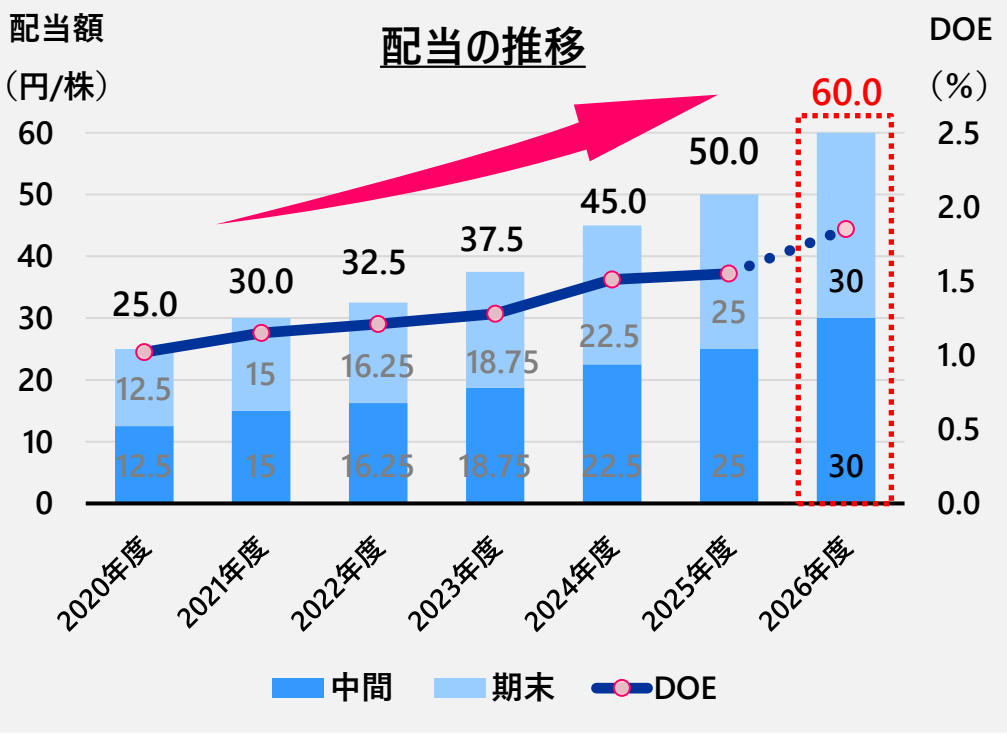
- 当第２四半期累計の業績は、主に機能性色素セグメントにおける有機EL材料の販売が、当初の想定より伸長しており、計画を上回っている状況です。
- 一方、今後の見通しにつきましては、長期化する中東情勢を背景とした原燃料価格の高騰、景気減速への懸念など、先行き不透明な状況が続くものと見込んでおります。
- このような状況下、2027年3月期の通期業績予想につきましては、2026年10月20日付で「（開示事項の経過）韓国連結子会社の株式上場承認に関するお知らせ」にてご案内いたしました、当社連結子会社 SFC CO., LTD.（以下、「SFC」）の上場に際し一過性の費用が発生することや、Framochem社の連結子会社組み入れ時期の遅れ等を織り込んだものとしております。
- これらの状況を踏まえ、2026年５月15日に公表いたしました通期の連結業績予想を上記のとおり修正することとしました。

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

2026年度 配当について

2026年度の中間配当金につきましては、中期経営計画「コード2030（CODE/CHORD 2030）」において掲げる「増配（累進配当）を継続し、2030年度（2031年3月期）にDOE3％以上を目指す」という株主還元方針に基づき、当初予想どおり、**1株当たり30円（前年度中間配当比5円増）**といたしました。
また、足元の事業環境は不透明な状況が続いておりますが、2026年度の期末配当につきましても、当初予想どおり1株当たり30円（前年度期末配当比5円増）を予定しております。

(基準日)	2025年度 配当実績	2026年度 配当実績・予想
中間 (9月末)	25.0円/株	**30.0円/株**
期末 (3月末)	25.0円/株	**30.0円/株**
年間	50.0円/株	**60.0円/株**



※ 当社は2025年4月1日付で、1株につき2株の割合で株式分割を行っています。
2025年4月1日以前の1株当たり配当金につきましては、
株式分割調整後の数値を表示しています。

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

1. 2026年度 第2四半期 決算概要（連結）

2. 各セグメントの主要製品
セグメント別 業績推移・動向

3. 2026年度 業績予想と配当について

4. 中期経営計画「コード2030」の進捗

HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

Framochem社 持分取得（完全子会社化）完了 (2026年8月25日)

Framochem社の完全子会社化：
「特殊化学品事業の非連続成長とグローバル展開」

FRAMOCHEM

買収概要：
ハンガリーのFramochem社を2026年8月25日付で
完全子会社化（全持分取得）

中期経営計画「コード2030」における位置づけ：
ポートフォリオ転換を推進する「非連続な成長戦略」の第1弾。
機能性樹脂セグメントの核となる
「特殊化学品（ホスゲン誘導体）事業」の競争力を抜本的に強化

統合シナジーと目指す姿：
当社の培ったホスゲンの取扱技術と、
Framochem社が欧州メガファーマ等に有する
高品位API・中間体の供給実績・顧客基盤を統合

事業基盤の拡大：
国内拠点による生産・輸出体制の維持・深化に加え、
欧州需要地に製造拠点を確保した「日欧ダブルハブ体制」を構築。
ホスゲン誘導体市場での「グローバル・ニッチトップ」を確立

保土谷化学×Framochem 本格始動

「本邦嚆矢のDNA」×「欧州屈指の技術力」で
世界市場へ新たな価値を



HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

株式会社NuChord（ニュコード） 子会社の設立（2026年9月1日）

核酸医薬CDMO事業への本格参入

中期経営計画「コード2030」における位置づけ：
有機EL材料事業に続く次世代の成長エンジンとして育成。
事業化を加速させる推進母体として新会社を設立

既存ビジネス（SFC社）：
- 原料素材の独自開発
- 研究用・非GMPオリゴ核酸の受託合成事業を展開
- 少量多品種生産における高い機動力と製造インフラが強み

新会社の役割と事業領域：
核酸医薬の原料素材からGMP製造まで一貫して対応する
CDMO事業の事業化を推進すること

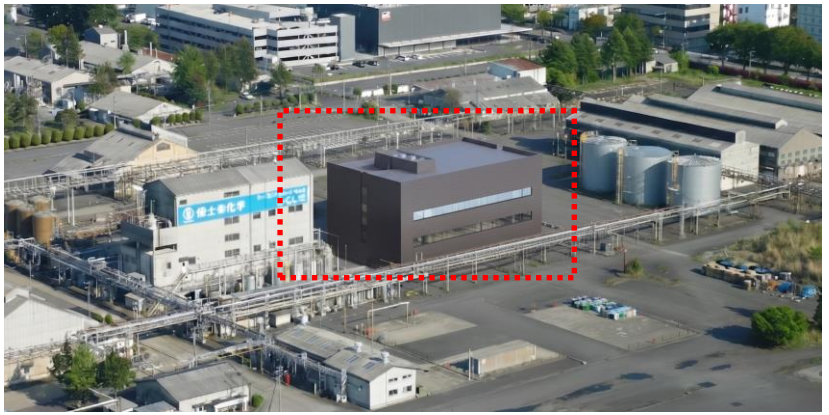
製造インフラ投資と今後のロードマップ設備投資：
郡山工場内に核酸医薬原薬に対応するGMP製造設備を
備えた新棟の設備投資を予定

ターゲット：
国内外のアカデミアおよび大手・バイオ製薬企業へ向け、
原料調達からGMP製造までのワンストップサービスを提供

**将来的には当社グループおよび有機合成薬品工業株式会社による
合弁会社体制への移行についても視野に入れ検討中**

商号	**株式会社NuChord（ニュコード）**
代表者	代表取締役社長 星川 光
事業内容	核酸医薬を中心とする医薬品、 バイオテクノロジー関連製品の 研究開発、製造・販売及び 受託研究・開発・製造等
資本金	2億円
出資比率	当社100%

郡山工場に新棟を建設（完成イメージ）



HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

東北大学×保土谷化学
「モノづくりで持続可能な社会に貢献する共創研究所」を設置（2026年6月11日 プレスリリース）

オープンイノベーションの加速

中期経営計画「コード2030」における位置づけ：

オープンイノベーション推進施策の第1弾。
次世代材料開発のスピードアップと新規事業創出を
目的とした産学共創プラットフォームを構築

研究開発体制の特長
（開発から社会実装までのシームレス化） 常設拠点の設置：

東北大学内に常設拠点を構え、
基礎研究と事業化開発を並行して推進

人材・リソースの有機的連携：

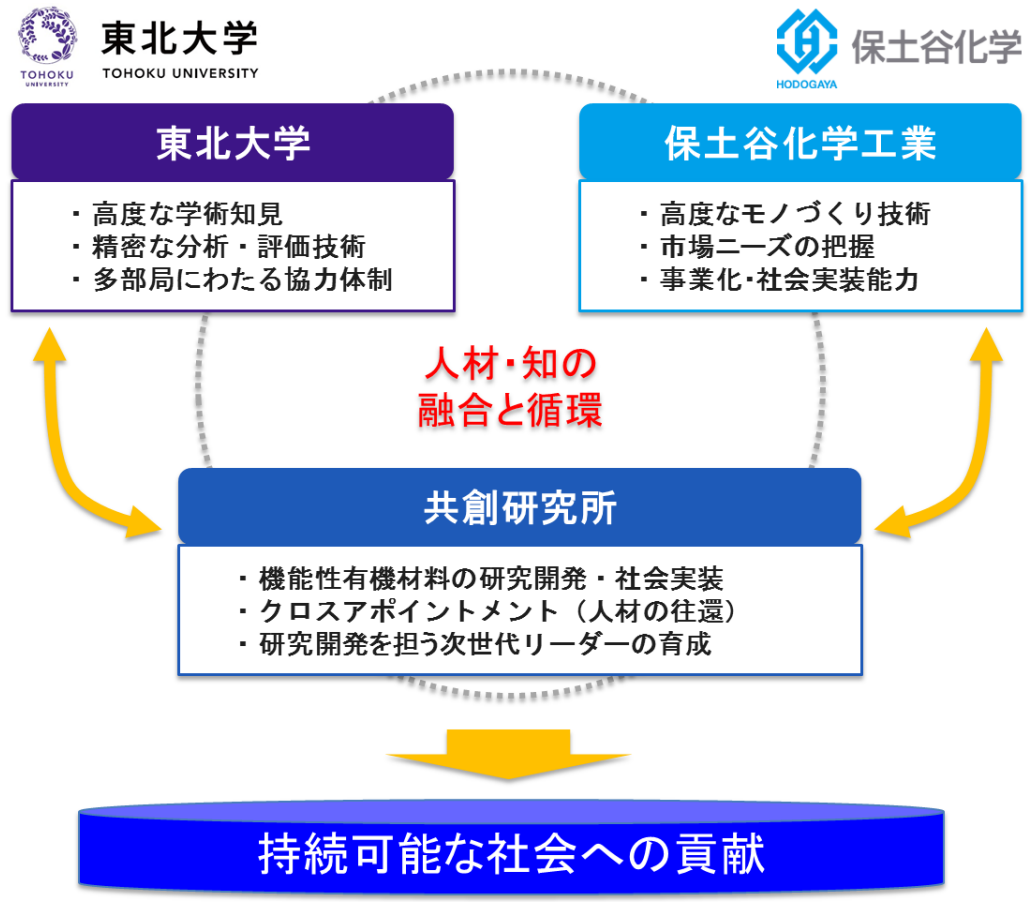
クロスアポイントメント制度を活用し、
当社人材が特任教員として参画。
大学内の部局横断的な研究設備・知見を直接活用

目指す成果とシナジー創出対象領域：

エレクトロニクス、ライフサイエンス、
環境・エネルギー分野等の「機能性有機材料」

提供価値：

大学の高度な学術知見と当社のモノづくり技術（化合物設計・
精密合成・量産化）を融合し、迅速な社会実装を実現



HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

≪注意事項≫

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・配当は今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

【お問合わせ先】

保土谷化学工業株式会社
経営企画部
03-6852-0327
www.hodogaya.co.jp



HODOGAYA CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.